

令和5年度入学試験問題

小論文（医学部保健学科）854

（後期日程）

出題意図

概要

わが国のうつ病の総患者数は、2017年までの15年間で71.1万人から127.6万人と1.79倍増加している。その他の精神及び行動の障害を除き他の精神疾患と比較すると、認知症（アルツハイマー病）に次いで、2番目に高い増加率を示している。また2017年までの10年間で、自殺の原因である健康問題に占めるうつ病の割合は、精神疾患の中で約40%と最も多く、微減しているがほぼ横ばいである。精神障害者における種類別障害者数と自殺の原因と動機に関する図表から、その傾向を読み取り、問題点を抽出し、問題に対する解決策を適切に表現できるかを評価する。

問題1

与えられた統計資料を正しく読む力と、読み取れた内容を総合的に分析し、データが示しているうつ病及び自殺に関連する課題を適切に表現する力を評価するための出題である。

問題2

読み取れた内容を基に、データが示す問題の背景を推論し、多様な視点から柔軟に思考する能力と、うつ病患者数及び自殺者数の低減という社会問題の解決に向けた、論理的思考力・創造力および保健学に対する興味や関心を持っているかどうかを評価するための出題である。